

夏秋白輪ギク「精の一世」の奇形花対策技術

背景

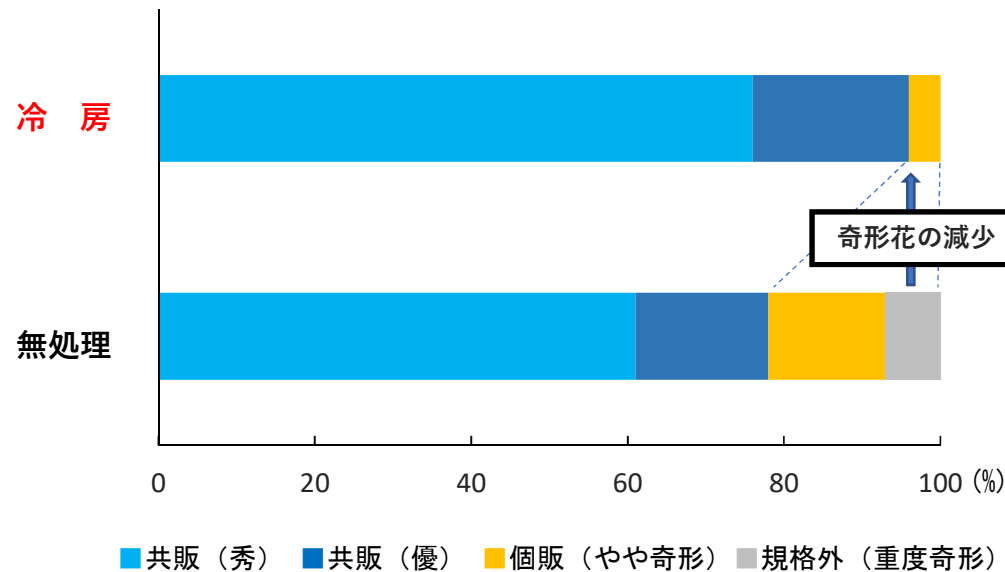
「精の一世」の9～10月開花作型では、夏季の高温遭遇により奇形花が発生し、出荷率が低下しています。

成果の内容

消灯前後各2週間の夜間冷房（23℃、12時間）により、奇形花の発生が減り、切り花品質が向上します。

消灯前後各2週間の夜間冷房の効果

奇形花が減り、共販規格（秀、優）の割合が増加



奇形花の減少

切り花長や切り花重が増加し、切り花品質向上

	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	蕾奇形度※
冷房	93.1	68.6	1.037
無処理	85.5	54.4	1.061

※蕾の長径/短径の比率。大きいほど奇形の程度が重い



重度奇形花の蕾

(苗木・花き部)